第3章 計画の基本的な考え方

1.基本理念

子どもが自分らしく安心して 暮らせるまちをみんなで創り出す

すべての子どもの心身ともに安全で健やかな成長を実現することは、現代社会の重要な課題です。人間としての基礎的な資質が作られるこの時期、大人と子どもの関わりのあり方は、子どもの生涯の充実した人生に大きく影響します。

また、子どもは現在の市民であるとともに、将来の市民社会の中核となる存在です。子どもを健やかに育み、豊かな市民性を培うことは、子どもの生涯を充実させるとともに、将来の市民社会の安定と発展のためにも必要なことです。

大人中心の暮らしや社会の価値を子どもの視点からも問い直し、子どもを支えていく社会をみんなで創り出します。

2.基本的な視点

(1)一人ひとりの子どもの権利実現の視点

子どもは一人の市民です。子どもも大人の市民と同様に、自分の意見を表明することができ、決定に参画する権利があります。子ども自らが考え行動し、他者と関わりながら成長できる環境を整えていくことが求められています。

また、子どもへの権利侵害がおきた場合の救済や、やり直しの機会が保障されるように、大人や社会が受け止めていくことも大切です。

大人も子どもも相互理解を深めながら、市民として現在と未来を一緒に創っていくという視点が必要です。

(2)子どもと親がともに成長する視点

子どもとの関わりを自らの子育てで初めて体験する親が多くなっています。

これまでは、親としての自覚や知識・技術を持っていることを前提に支援が組まれてきましたが、現代の子育てには子どもが成長する時、親も新たな体験を積み重ね、ともに成長していく視点が必要です。

子育てスタート期を大切にし、その場のみの助け合いや連携に止まらず、地域での子育て仲間の形成や地域で支え合える土壌づくりをし、子どもも親も地域の人々もともに、成長し合うことが必要です。

(3)地域の中で家族を孤立させない視点

子育ての主体は家族にあります。けれども、家族の中で解決できない時や行き 詰まった時に、さりげなく相談に乗ってもらったりすることがとても大きな力に なるものです。一方では、子育て観・生活観などの多様化により、子育て家族と 地域との結びつきに難しさを感じる市民も多くなっています。

多様な地域社会と家族との関わり方に視点を当てた地域活動が柔軟に展開されて、子育ての支え合いのできる地域社会を創ることが必要です。

(4)市民(子どもと大人)と行政の協働を進める視点

子どもに関わることは、子どもと大人が協働して取り組んでいくことが必要です。また、市民と行政は、行政がやるべきことと市民ができることの分担と協働を協議し、お互いに責任をもって事業を創り出していくことが大切です。

子どもと大人が協働することによって、当事者の視点が明確になりそれぞれの地域の実情にあった施策や活動の方向性が明らかになります。

3.基本目標

基本理念を実現するために、3つの基本目標を掲げました。

基本目標 :子どもが健やかに育ち、

一人ひとり自分の中に光るものを持っている

基本目標 :子どもが安らいでいる家族があり、

家族が地域とつながっている

基本目標 :子どもが地域の中で大切にされている

4. 施策の体系

基本目標 子どもが健やかに育ち一人ひとり自分の中に光るものを持っている

■重点目標1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

個別目標(1)コミュニケーション能力を育てる

個別目標(2)参加と意見表明の場や機会をつくる

個別目標(3)救済とやり直しの場や機会を保障する

重点目標2 大人になっていく力をつける(市民性の形成を育む)

個別目標(1)乳幼児期の養護の充実

個別目標(2)幼児教育の充実

個別目標(3)学校教育の充実

個別目標(4)思春期の子どもの心と身体の健康教育

個別目標(5)体験活動から学ぶこと(文化・スポーツ活動等)

基本目標 子どもが安らいでいる家族があり、家族が地域とつながっている

重点目標1 親になる力を身につける

個別目標(1)親スタート期を支える

個別目標(2)子育て期を支える

個別目標(3)男女共同の子育てを進める

個別目標(4)親の悩みを支える

■重点目標2 親が働くことを支える

個別目標(1)保育支援

個別目標(2)サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

重点目標3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える

個別目標(1)障がいのある子どもと家族への支援

個別目標(2)ひとり親家族への支援

個別目標(3)外国籍家族への支援

個別目標(4)被虐待児(DV家族児童を含む)と家族への支援

基本目標 子どもが地域の中で大切にされている

■重点目標1 人と人が関わりつながる場をつくる(家庭・施設・学校・地域・行政の協働)

個別目標(1)地域の人材育成と人材活用

個別目標(2)地元事業所・商店の関わり

個別目標(3)体験できる場(多様な体験ができる機会を増やす)

個別目標(4)交流できる場

(子どもや子育てしている人がふれあい情報交換できる場を増やす)

個別目標(5)子どもセンター・地域子育てセンターを中心とした地域づくり

重点目標2 情報が確実に届く

個別目標(1)子どもと親への情報の確保

|重点目標3 みんなで安全・安心のまちをつくる|

個別目標(1)子どもの安全・安心の確保

個別目標(2)子育てしやすいまちづくり